

# 第2回地域夢・未来カフェ in 桜が丘

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため、第1回に引き続き、「第2回地域夢・未来カフェ in 桜が丘」が開催されました。

**日時：2012年11月29日（木）14:30～16:30**

**場所：川西市役所 202会議室**

**参加人数：市民15名＋市WGメンバー3名**

## 当日のスケジュール

- 14:30 開会、地域分権制度の論点説明（総合政策部長）
- 14:35 スケジュール説明・ふりかえり・テーマ発表
- 14:55 チーム分け
- 15:00 イントロ（川西クイズ）
- 15:05 テーブルワークの説明・事例紹介
- 15:10 テーブルワーク（活動案の検討）
- 16:30 閉会

## 地域分権制度の論点説明～チーム分け

はじめに、総合政策部の本荘部長から地域分権制度の論点説明がありました。

その後、司会の（株）studio-Lから当日スケジュールの説明と、第1回カフェで共有した重要な地域課題と取組を分析した傾向から導き出された3つのテーマ案の発表がありました。内容は、地域コミュニティに関するものが2テーマ、ボランティア活動の活性化に関するものが1テーマでした。これらをもとに、具体的な活動案を検討していくことになりました。

その後、参加者は話し合っていたいテーマのテーブルにそれぞれ移動しました。

テーブルワークに入る直前には、イントロダクションとして、桜が丘小地域の状況に関するクイズが3問出題されました。



### 第1回カフェの結果から分析した傾向

- 自治会などの地域活動に関しては、取組で特に重要度が高い！
- ボランティアや担い手に関しては、取組で特に重要度が高くなっている
- 地域活動の拠点づくりや居場所づくりは、課題で重要度が高い

### 決定したテーマ

- Aグループ：地域活動（自治会等）の活性化
- Bグループ：ボランティア活動の活性化
- Cグループ：地域がつながる場づくり

### Aグループの概要

#### ◎地域活動（自治会等）の活性化

- ⇒ 自治会活動の加入率を上げる取組
- ⇒ 自治会活動や地域活動に参加してもらうための方法
- ⇒ その他
  - ・ 新たな活動者への育成方法
  - ・ 地域活動の拠点づくり など

### Bグループの概要

#### ◎ボランティア活動の活性化

- ⇒ ボランティアに参加したくなる取組
- ⇒ 新たなコミュニティビジネス・有償化
- ⇒ その他
  - ・ 団塊世代のスキルやノウハウを活用する
  - ・ ボランティア人材バンク制度の創設
  - ・ ボランティア養成講座の実施 など

### Cグループの概要

#### ◎地域がつながる場づくり

- ⇒ 気軽に集まれる居場所づくり
- ⇒ 公園や既存施設の活用方法
- ⇒ その他
  - ・ 子どもや若者が企画したイベントの実施
  - ・ コミュニティカフェの設置 など

## テーブルワーク



3グループに分かれ、はじめにファシリテーターから、テーマに即した事例紹介がありました。その後、活動メニューから検討をはじめ、メニューがある程度決まったグループは、活動をより具体的に話す話し合いを進めました。どのグループも、閉会時間ギリギリまで活発な議論が行われました。

### ◎各グループの主な意見

#### Aグループ：地域活動（自治会等）の活性化

##### ●自治会の現状

- ・マンションが多い ・加入率が低い ・共働きの多い ・一部の自治会しか会議に出てこないなど
- ・自治会に入らないマンション管理組合がある ・昔風のイメージをもたれているなど

##### ●自治会の対策

- ・新しい自治会の形態：自治会長は複数年留任、レクリエーション委員、役員は全部副会長など
- ・集いの場：男の親父の集い、地域サロン、酒飲みただけでもいいなど
- ・楽しく気軽：サポーターズクラブ、清掃、スポーツ、防犯、地域支援マップづくり、バスツアー、もちつきなど

#### Bグループ：ボランティア活動の活性化

##### ●地域住民の方のスキル・経験・パワー

- ・視点：活動の場づくりは必要、桜が丘の住民が地域の情報に触れられるように、お金を回すなど
- ・スキルの見える化：サラリーマン時代のスキルを活かしたい、アカデミックな志向など
- ・地域活動を見える化：小学校サイトと相互リンク、教育委員会との調整、小学校のサイトを毎日更新など
- ・活動のモチベーションづくり：市民グループで競って様々な取組を、提案性のある地域活動など
- ・プログラムづくり：市民先生、学校が核になる必要、コーディネーターが必要、いきいき学校応援事業など
- ・広報：PTAとの連携、学校との共催了承、福祉便り、他の団体、委員会と相互リンクなど

#### Cグループ：地域がつながる場づくり

##### ●場づくりのアイデアを考えよう

- ・場所：拠点になる場所の確保、会館のうらの空地を活用できないか、1か所だけでなく3か所あればよいなど
- ・楽しく集まる：楽しい企画を盛り込む、〇〇大学という集まり方や、季節ごとのテーマのお話など
- ・運営：若い人にまず企画に入ってもらう、運営にも入ってもらう、できることをもちよる、広がりを持つなど
- ・若い人とのつながり：カフェをつくってみる、コミュニティレストラン、気軽に入れる場所、子育てサポート（お祝い金制度）の仕組みができて若い人が入ってきた、市営住居は子ども連れ優先入居にするなど

